

Ciconia 1:53-56(1992)

福井県におけるハクビシンの生息状況

池田善英^{1・2}・須藤一成^{2・3}・林 哲⁴

ハクビシン *Paguma larvata* は、インド・ネパール・チベット・中国・台湾・チェンマイ・スマトラ・北ボルネオなどに分布する、食肉目ジャコウネコ科に分類される動物である。帰化動物と考えられているハクビシンは、日本における野生化が1940年～45年にかけて行なわれたと推定され、1960年代より急激にその分布を広げてきている。現在の分布は、東北、関東・中部、四国の3地域に大きく分けられている（中村ほか 1989）。

福井県内でも、1981年4月に初確認されて以来、九頭竜川流域の山間部を中心に、ハクビシンは稀れに記録され、関東・中部地域個体群の分布最前線にあると考えられる。筆者らは、1991年4月に福井県大野市の山間部で観察することができた。そこで、今回の観察記録とともに県内のこれまでの生息記録をまとめて報告する。

本文に先立ち、現地での観察に協力していただいた日本海ワシタカ研究会の池田真弓・久保上宗次郎の両氏をはじめ多くの会員の方々、さらに貴重な記録を提供いただいた福井県自然保護センターの大迫義人氏、および家光和彦・久保藤土継・谷間良昭・中村照夫・前市太郎の各氏と、文献をご教示下さった富山市科学文化センターの南部久男学芸員に謝意を表する。

1. 今回の観察記録

1991年4月16日の夜、大野市南部を流れる真名川上流の中島（標高390m）にある麻那姫湖青少年旅行村（東経136° 31'、北緯35° 52'、図1のh地点）において、1991年4月16日の夜、ハクビシン2頭を観察した。まず、園地内を流れる小さな川にかかる橋の近くの草地で1頭を発見した。ヘッドライトに照し出されたこの個体は、ゆっくりと我々から遠ざかるよう歩いて堤防上のキリ *Paulownia tomentosa* の樹に登った（写真1）。観察時間は、20:50～21:20であった。



写真1. 樹上に逃げたハクビシン（1991年4月16日、撮影：須藤一成）。

Fig. 1. A Masked Palm Civet on the tree on 16 April, 1991 (Photo by K. Sudo).

このあと、小川を挟んで反対側の堤防上の草地に別個体を発見した。自動車に乗ったままハクビシンに接近すると、最低10~20mくらいの距離を保とうとはするが、急いで逃げることはなかった。園内道路と草地の境界あたりの地面で何かを探して食べている様子であったが、双眼鏡で観察しても詳しくは判らなかった。観察時間は21:20~21:40であった。

翌17日にも、21時過ぎから1時間半ほど園内を探査し、21:12~21:30に前日の2頭目を発見した場所でハクビシン1頭を観察した。その後、4月30日、5月1日、4日~6日、12日、26日、7月19日~20日の日没後に探査を行なったところ、5月1日に2頭と同6日に1頭が橋の近くの堤防や河原で観察された。その際、自動車の接近に対して敏感に逃避するようなり、最短50mくらいの距離を保つように行動が変化していた。

なお、上記の探査中に、タヌキ *Nyctereutes procyonoides* を頻繁に観察し、親子連れのキツネ *Vulpes vulpes* やアナグマ *Meles meles* も目撃した。これらの中で最もハクビシンと見間違いそうになったのはタヌキであった。しかし、遠方の場合でもライトに照された虹彩の色がハクビシンは青白く見えるのに対して、タヌキはやや橙色を帯びることで区別できた。

2. 過去の観察記録

福井県内の観察地点の多くは九頭竜川流域であり（表1、図1）、水野（1983）も推察しているとおり、1981年以前から分布していた岐阜県美濃地方から県境を越えてきたと考えられる。しかし、ハクビシンは海岸部から標高1,000m前後の、急傾斜地や沢沿いの雑木林に生息・繁殖するとされており（鳥居 1982），両白山地の標高1,000~2,000mの峰々よりなる県境を越えることは容易ではないと考えられる。したがって、ハクビシンは県境の中でも標高の比較的低い地域を越えてきたと推察される。

表1. 福井県内におけるハクビシンの観察記録。

Table 1. Records of Masked Palm Civets in Fukui.

図番号 ¹	年月日	場 所	頭数	情報提供	備 考
a	1981. 4	大野市蓑道	1		死体拾得（福井県自然保护センター所蔵）
b	1985. 1	河野村糠	1♀	前市太郎	タヌキ罠による捕殺
c	1985年頃	大野市嵐谷	不詳	久保藤士継	ときどき目撃
d	1987. 8.14	大野市南六呂師	不詳	中村照夫	撮影のみ
e	1987.10~11頃	敦賀市大比田	1	家光和彦	目撃
f	1988. 7. 4	丸岡町川上	1	谷間良昭	目撃
g	(不明)	丸岡町上竹田	不詳	(間接)	死体拾得
h	1991. 4.16	大野市中島	2	池田善英ら	本報告
i	1991. 6	大野市橋爪	1	大迫義人	道路横断
j	1991.11.21	大野市熊之河	1	大迫義人	足跡確認

1: 図1参照

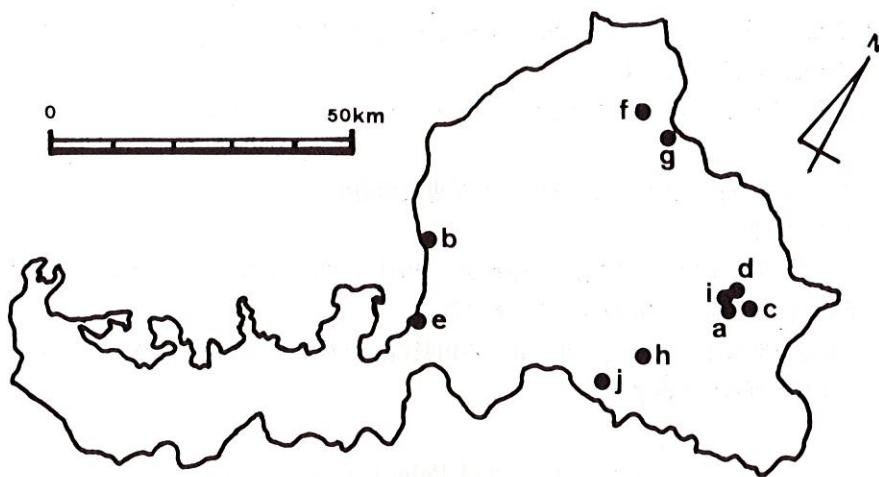


図1. 福井県内におけるハクビシンの確認地点（表1参照）。

Fig. 1. Location of sighting points of Masked Palm Civets in Fukui (See Table 1).

現在の分布域から考えると、まず福井県東部で岐阜県に接する稜線の中で最低地点の油坂峠（標高790m, 国道158号）辺りを越えて白鳥町方面から九頭竜川本流源流部へ侵入したと推察される。そして、やや遅れて県南部の県境の中で比較的低い温見（ぬくみ）峠（標高1,020m, 国道157号）辺りを越えて根尾村方面から九頭竜川支流の真名川上流部へ侵入したと推察される。また、敦賀湾に面する地域で確認された個体は、県西部の高倉（こうくら）峠（標高964m）辺りを越えて岐阜県徳山村・坂内村方面から日野川上流へ侵入したものが移動してきたのではないかと思われるが、日野川流域での観察例がないため推測の域をでない。

3. 現在の分布

ハクビシンは、1981年の福井県での初認の2年後、北陸地方の他の2県でも相次いで発見されている。石川県では、1983年6月に福井県境に比較的近い中山町の路上で死体が見つかり（水野 1983），最近では福井県境の牛ノ谷峠から約500mの加賀市熊坂の国道8号線で、1991年8月17日に轢死した1個体が確認された（須藤，未発表）。富山県では、細入村で1983年12月に初確認され、最近では1990年10月に婦中町で轢死体が見つかり、八尾町では幼獣発見により繁殖も確認された（山本 1991）。福井県と同様に、岐阜県飛騨地方から県境の最低地点である神通川沿い（国道41号）に侵入してきたと推察される。

つまり、現在では九頭竜川流域の大野市や和泉村などの山間部を中心に定着し、下流部では石川県境の山間部沿いに丸岡町方面まで分布を広げていると考えられる。また、侵入してから最低10年が経過していることや、最近目撃される頻度が増したことなどから、富山県と同様に繁殖している可能性は十分にあると考えられる。

引用文献

中村一恵・石原龍雄・坂本堅五・山口佳秀. 1989. 神奈川県におけるハクビシンの生息状況と同種の日本における由来について. 神奈川自然誌資料 (10) : 33-41.

- 水野昭憲. 1983. 石川県にもいたハクビシン. はくさん 11(4) : 14-15.
- 鳥居春己. 1982. ハクビシン. 鳥獣害の防ぎ方 (由井正敏・阿部 稔ほか著) : 329-335.
- 農山漁村文化協会, 東京.
- 山本茂行. 1991. 呉羽丘陵に迫るハクビシン. グルーミング (14) : 11.

1. 金沢大学大学院自然科学研究科生命科学専攻環境生物学講座. 〒920-11 石川県
金沢市角間町
2. 福井県希少猛禽類調査委員会. [事務局 : 〒921 石川県金沢市西泉4-135-2]
3. 〒629-14 京都府天田郡夜久野町平野1171
4. 福井県自然保護センター. [現所属 : 石川県白山自然保護センター. 〒520-23 石川県
石川郡吉野谷村木滑ヌ4]

Status of Masked Palm Civets in Fukui

Yoshihide Ikeda¹⁺², Kazunari Sudo²⁺³ and Tetsu Hayashi⁴

At Nakajima in Ono, Fukui, two Masked Palm Civets *Paguma larvata* were observed on April 16, 17, May 5 and 6 in 1991. We reviewed the prior occurrence records in Fukui. We suppose that the civets invaded from neighboring Gifu Prefecture through the Aburazaka, Nukumi and Kokura Passes around 1981, and that they breed along the basin of the River Kuzuryu.

1. Department of Environmental Biology and Health Science, Kanazawa University, Kakuma-machi, Kanazawa, Ishikawa 920-11
2. Fukui Rare Raptor Research Committee. % Yoshihide Ikeda, Nishi-izumi 4-135-2, Kanazawa, Ishikawa 921
3. Hirano 1171, Yakuno, Kyoto 629-14
4. Fukui Nature Conservation Center (Present address : Hakusan Nature Conservation Center, Kinameri, Yoshinodani, Ishikawa 920-23)